

# 地域社会との密接な連携を築こう

—地域とともに生徒の成長を支えるPTA活動—

碧南市立新川中学校PTA

## 1 学区及び学校の概要

本校は碧南市の西部に位置する学校で、学校の周辺には、市民図書館をはじめコンサートや講演会が開かれる芸術文化ホール・シアターサウス、大型遊具もある明石公園などがある。昭和22年に開校され創立70年目を迎えた歴史と文化の伝統がある学校である。

全校生徒424名、1年生は5クラス、2・3年生は4クラス、特別支援学級2クラス、合計15クラスの学校である。本校PTAは、保護者382名、教職員33名から組織されている。PTA活動は、役員8名と各地区2名の実行委員19名と教職員6名から構成される3つの委員会によって行っている。

## 2 研究のねらい

家庭も学校も地域も子どもの健やかな成長をめざしてさまざまな取組を行っている。学校・家庭・地域がうまく連携を図っていくことによって、生徒の成長を支える大きな力となることができると考え、本テーマを設定した。

## 3 研究の仮説

学校と家庭が手を結び、地域の行事とともに参加したり、PTA活動を充実させて学校の教育活動を支援したりしていけば、学校が活性化するとともに、生徒を健全に育成することができるであろう。

## 4 研究の実践

### (1) 新川地区クリーン大作戦

5月の第三日曜日に公民館事業として、クリーン大作戦が行われる。今年も地区の役員、青少年推進委員、民生委員、新川おやじの会、小中学生とそのPTA等、さまざまな人が参加して行われた。公民館に地区ごとに集まり、清掃場所の指定がされた後、本校生徒会役員の掛け声で活動が始まった。公民館、小中学校の校庭やその周辺に分かれて地区の方々と交流しながら、活動をした。中には、家庭にある電動草刈機を持ってきて作業をして



くださる方もいて、短時間でみるみるうちにきれいになっていった。生徒たちは、大量に集まった草を見て達成感を感じながら、最後に配られる飲み物で乾いたのどを潤していた。

## (2) 元気ッス！へきなん

碧南市の夏の一大イベントである“元気ッス！へきなん”が7月末の土曜日に開催される。生徒会が中心になって声をかけ、練習会を実施し、踊りの練習と鳴り物作りを行った。当日は、朝からPTA役員がリヤカー3台に飾りつけをし、見事な給水車を作り上げた。夕方には、290名の生徒とPTA・職員40名、合計330名が学校に集まり、PTA生徒委員長のあいさつ後、元気に出発した。日没後とはいえ、参加者の熱気も加わり、気温はぐんぐん上がった。踊りの休憩時にはPTAの役員が生徒一人一人に水分を配り、健康管理をした。連のまとまりを評価され、“ベストパワー賞”に入賞し、代表として生徒会役員が表彰状をいただいた。生徒は、PTAの協力を得て地域の行事に参加でき、新中生としての絆を深めた。



気温はぐんぐん上がった。踊りの休憩時にはPTAの役員が生徒一人一人に水分を配り、健康管理をした。連のまとまりを評価され、“ベストパワー賞”に入賞し、代表として生徒会役員が表彰状をいただいた。生徒は、PTAの協力を得て地域の行事に参加でき、新中生としての絆を深めた。

## (3) 公民館まつり

公民館まつりが公民館と中学校を会場にして行われる。毎年、PTA役員と生徒がボランティアとして活躍している。PTA役員は、前日には会場設営、調理の下準備の手伝いをし、当日はみたらしだんご・五平餅を焼き、販売をしている。生徒は、当日PTAと一緒にだんご等の販売やお抹茶・お煎茶の接待、子どもたちのゲームの世話等をしている。ボランティア参加の生徒は、地区の方々と触れ合いながら、たくさん「ありがとう」のこぼれをいただき、自己肯定感を高めていた。

## (4) あいさつ運動

本校では、全PTA会員によるあいさつ運動を第2、第4金曜日の朝の25分間行っている。「あいさつ運動を通して、明るい社会作りと生徒の健全育成をめざし、あいさつの啓発と学校生活の様子を知る機会とする」ことをねらいとした、PTA生徒委員会の活動のひとつである。実施日は、各地区ごとに割り振られ、地区のPTA実行委員が班長として活動している。多い日には30人近いPTAの方が参加し、元気なあいさつで生徒を迎えた。「普段、家庭では見えない生徒の顔を見ることもできてよかった」という保護者もいる。



## 5 成果と今後の課題

生徒の健全な成長のために、地域との連携とPTA活動の充実が重要であることを再認識することができた。生徒は、地域やPTAの方々とのふれあいを通して、多様な価値観や知恵等、多くのことを学んでいる。そして、これらの活動は生徒に多くの笑顔を与え、自己肯定感を高めることにつながっている。今後も、それぞれが、各々の活動をするのではなく、よりよい生徒の成長をめざして、互いに連携を図りながら活動を進めていきたい。